

第6学年 学年だより



杉並区立杉並和泉学園小学部
平成30年12月4日No.9
学園長 田中 稔
担任 三浦 哲
柿添 剛広
増田 有紀
副担任 横野 未来

確かな学力を育む取組

下の表は、5月に実施した杉並区特定の課題に対する調査等の結果です。この調査では、前学年までの学習内容がどの程度定着しているのかどうかを調べています。この調査の結果では、学び残しがあるという判定をされている児童が4人に1人の割合でいることになります。ここで、基礎的な内容を学び残したまま中学校へと進学していくということは、さらに先の進路にも影響を与えることになります。学び残しのある児童が少しでも減少するよう、個別学習を充実させたり、協働学習を推進したりするなど、授業改善に力を入れていきます。また、確かな学力をより一層定着させることができるように放課後学習や家庭学習の見直しも図っていきます。ご家庭でも家庭学習が充実したものになるよう児童への声かけ等、ご協力をよろしくお願ひします。

<杉並区特定の課題に対する調査（区学力調査）の結果より 各教科の平均正答率（%）>

国語	本校	62.8
	区平均	67.4
算数	本校	57.6
	区平均	62.1
理科	本校	60.1
	区平均	63.3

<個票をもう一度見直しましょう>

上の表は、6年生の平均値です。**大切なのは、一人一人が課題をしっかりと把握して学習に取り組んでいくことです。**2学期の保護者会でお渡しした個票に項目ごとの正答率と目標値が書いてあるので、家庭学習をする際の参考にしていただければと思います。

		正答率	目標値
算数	基礎	6年生の学習では 数学的な考え方：見通しをもち、論理的に考え、表現する力 技能：計算や測定をし、数量や図形について表したり、調べたりする技能 知識・理解：数量や図形についての意味や性質、関係、特徴についての理解	
	応用		
領域別	観点別	6年生の学習では 数と計算：分数のかけ算、分数のわり算 など 量と測定：円の面積、角柱と円柱の体積、速さ、いろいろな単位 など 図形：拡大図と縮図、対称な図形 など 数量関係：比、比例と反比例、文字を使った式 資料の調べ方、場合の数 など	
	学ぶ力	数学的考え方	
	技能		
理科	基礎	6年生の学習では 思考・表現：自然の事物・現象の変化の要因を、条件に着目して考え、問題を解決する力 技能：目的に応じて観察・実験をし、その過程や結果を的確にまとめる力 知識・理解：自然の事物・現象の性質や変化のきまりについての理解	
	応用		
領域別	観点別	6年生の学習では エネルギー：てこのはたらき、電気の性質とその利用 粒子：ものの燃え方、水溶液の性質 生命：体のつくりとはたらき、植物の成長と日光の関わり、植物の成長と水の関わり、生物どうしの関わり 地球：月と太陽、土地のつくりと変化、生物と地球環境	
	学んだ力	知識・理解	
	エネルギー		
	粒子		
	生命		
	地球		

		正答率	目標値
理科	基礎	6年生の学習では エネルギー：てこのはたらき、電気の性質とその利用 粒子：ものの燃え方、水溶液の性質 生命：体のつくりとはたらき、植物の成長と日光の関わり、植物の成長と水の関わり、生物どうしの関わり 地球：月と太陽、土地のつくりと変化、生物と地球環境	
	応用		
領域別	観点別	6年生の学習では エネルギー：てこのはたらき、電気の性質とその利用 粒子：ものの燃え方、水溶液の性質 生命：体のつくりとはたらき、植物の成長と日光の関わり、植物の成長と水の関わり、生物どうしの関わり 地球：月と太陽、土地のつくりと変化、生物と地球環境	
	学ぶ力	思考・表現	
	技能		
領域別	観点別	6年生の学習では エネルギー：てこのはたらき、電気の性質とその利用 粒子：ものの燃え方、水溶液の性質 生命：体のつくりとはたらき、植物の成長と日光の関わり、植物の成長と水の関わり、生物どうしの関わり 地球：月と太陽、土地のつくりと変化、生物と地球環境	
	学んだ力	知識・理解	
	エネルギー		
	粒子		
	生命		
	地球		

＜学園における学力向上の取組＞

- ・校内研究を通して、「思考力・判断力・表現力等」の向上を目指しています。一人一人がじっくりと考える時間を確保するために「個で思考する」→「話し合い、ICT活用を通して思考を共有する」→「自分の考えを問い合わせ直す」流れを大切にした授業づくりを行っています。
- ・小学部と中学部の教員が話し合い、9年間のつながりのある学習を展開しています。今までに学んだことを生かし、さらに知識・技能を身に付けることができるようになっています。
- ・小学部の授業を中学部教員が指導したり、中学部のパワーアップ教室に小学部教員が参加したりするなど、互いの特長を生かした指導体制を整えています。

＜地域と協力した学力向上の取組＞

- ・放課後学習（小学部木曜日、中学部水曜日）、夏のパワーアップ教室では、学校支援本部と協力して個別学習の充実を図っています。学園が開校してから4年目の取組となり、着実に成果が表れています。
- ・思考力を高める「わくわく算数レストラン」、知識・技能の定着を確認する「漢字・英語検定」を定期的に実施しています。意欲的に学ぶ姿がたくさん見られています。
- ・土曜日に学校支援本部が「手習い塾」を開催しています。小学部・中学部の児童が集中して自分の課題に取り組んでいます。さらに、多くの児童生徒に参加してほしいと思います。

＜6年生における学力向上の取組＞

- ・一部教科担任制
→教員の専門性を生かして、社会（三浦）、理科（増田）、体育（柿添）で実施しています。
- ・定期考查の実施
→1学期は、学期末テスト（国語、算数、理科）を1日にまとめて実施しました。子どもたちは、思っていた以上に、上手に時間を使うことができなかったようです。今回は学習計画表を有効に活用できるよう、学級でも指導をしていきます。そして、終了後には取り組みに関して、振り返りを行い自己の課題を明確にすることで計画的に学習を進める力を育んでいきたいと思います。

6年 授業改善プラン（学力テストの結果より）

国語

- ・聞かれたことを文章から正しく書き抜く力
 - ・文章全体を正しく読む力
 - ・文章を読んで自分の経験と重ねて書く力
- などに課題が見られました。

授業改善ポイント

- ・文章を正しく読む力を高めます。
→音読する時間を必要に応じて取り入れます。（一人ずつ順番に読む方法だけではなく、学習内容に応じて一人読み、ペア読みなど効果的な方法を取り入れます。）
- ・言葉を正しく理解できるようにします。
→辞書を引く習慣をつけていきます。
→語句の意味を理解できているか確認するプリントに取り組みます。
- ・物語や説明文を読んで自分の考えを書く力を高めます。
→書く時間の確保、感想を伝え合う活動を充実させます。

社会

- ・歴史や地理的なものに関する知識・理解の確実な定着
 - ・正しく資料を読み取る力
- などに課題が見られました。

授業改善ポイント

- ・知識・理解の確実な定着。
→ワークシートなどを活用し、短い時間で学習した語句の復習ができるようにしていきます。
- ・資料正しく読み取る力。
→個で資料を読み取る時間を十分に確保する。
→ペアや学級など、集団で読み取った内容を整理し、正しい読み取り方と誤った読み取り方を確認する。
→読み取った内容からどのようなことが考えられるのかを考える時間を確保する。

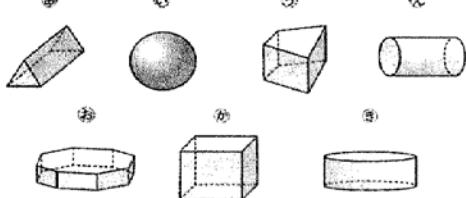
算数

「図形の基礎的な問題から応用問題」「減法と乗法の計算のきまりを使った問題を考えること」「分数÷整数の計算の仕方、四則計算についての問題を考えること」などの問題の正答率が低かったです。

例

下の図形から、角柱と円柱をすべて選んで、①から⑩の記号で答えましょう。

(1)



(2) (考え方) $\frac{4}{5}$ の分子の4が3でわられるように大きさの等しい分数に直して、計算のしかたを考えました。

$$\begin{aligned} \frac{4}{5} \div 3 &= \frac{4 \times 3}{5 \times \boxed{\text{ア}}} \div 3 \\ &= \frac{4 \times 3 \div 3}{5 \times \boxed{\text{イ}}} \\ &= \frac{4}{5 \times \boxed{\text{ウ}}} \\ &= \frac{4}{\boxed{\text{エ}}} \end{aligned}$$

(3) (2) 下の式で、○、△、□にあてはまる数を、1から10の整数から選んで書きましょう。ただし、○、△、□にはそれぞれちがう数が入ります。

$$\frac{1}{\bigcirc} - \frac{1}{\triangle} = \frac{1}{\square}$$

理科

「顕微鏡や温度計などに関する知識」「正しい実験結果を選ぶこと」「学んだことを基に説明する力」などの正答率が低かったです。

例

③鉄とアルミニウムを分ける工場のクレーンには、電磁石が使われています。鉄とアルミニウムを分けることができる理由と磁石ではなく電磁石が使われている理由を、それぞれ説明しましょう。

授業改善ポイント

- ・図形を正しく捉える力を高めます。
→図形の向きや傾きに左右されない見方を養い、言葉とイメージを正しくつなげることができるよう、実際に実物を操作したり、ICTを活用して立体的に形を捉えたりすることができるようになります。
- ・計算方法の仕組みを理解する力を高めます。
→計算方法を暗記するだけで終わらないよう、まずは個で考える時間を確保します。机間指導を行う中で、個で解決するのが難しい児童には、適宜ヒントを提示しながら、自分で考えて答えを見つけるという経験を積み重ねていきます。それをもとに、計算方法について気付いたことや理解したことをペアで伝え合ったり、学習を振り返ったりする時間を十分に確保します。また、空欄に当てはまる数字を考える問題【例の(2)(3)の問題】では、考える順序を説明する活動を取り入れたり、試行錯誤して解を見つけ出す喜びを味わえるようにしたりします。

理科

「顕微鏡や温度計などに関する知識」「正しい実験結果を選ぶこと」「学んだことを基に説明する力」などの正答率が低かったです。

例

③鉄とアルミニウムを分ける工場のクレーンには、電磁石が使われています。鉄とアルミニウムを分けることができる理由と磁石ではなく電磁石が使われている理由を、それぞれ説明しましょう。

授業改善ポイント

- ・学んだことを説明する力を高めます。
→実験結果のまとめ、結果から分かったこと、疑問に思ったこと等、考察し「表現する時間」を確保します。また、書く内容を掲示することで視点を明確にします。そして、考えを伝え合う「対話する時間」を十分に確保します。
- ・確実な知識の定着を図ります。
→知識の定着を確認する時間を設けたり、学習課題につながる既習事項を確認したりします。

6年生の家庭学習

宿題

《月～木曜日》

音読、漢字らくらくノート（漢字テスト練習）

計算ドリル

自主学習 ※月曜日～金曜日の間に提出

《金曜日》

音読、漢字らくらくノート・計算ドリル・日記

家庭学習時間のめやすは？

70分（10分×学年+10分）

- 授業で学習したことの復習
- これから学習することの予習
- 自分の課題（できていないところ）を克服するための学習
- 興味・関心があることを追求する自主的な学習

こんな学習をしてみよう！！（自主学習の取り組み例）

○知識・技能の定着を図る取組 ●思考力等を育む発展的な取組

国語

- 国語辞典を使う（意味調べ）
- 新しい語句を使って文章を作る。
- 漢字・四文字熟語などの暗記
- 音読・読書
読んだ本の題名、ページ数、感想などを記録しておくといいですね。
※②は学校にあるワークシートを活用することもできます
- 読書した本についての感想や意見をまとめたり、自分の生き方と関連付けて文章を書いたりする。
- 新聞記事について自分の意見をまとめること

算数

- 教科書・ノートを見ながら、学習内容の復習をする。
例えば…
 - 計算練習
 - 分数のかけ算、わり算、速さ
 - 面積、体積、割合
 - 公約数（最大）、公倍数（最小）
 - 平均など
- 文章問題を解く時に、自分で数直線や図をかいて立式する。（お家の人に説明する）
- 発展問題に取り組む。

理科

- 教科書・ノートを振り返りながら学習内容を復習する。
- 学習問題から疑問に思ったことや、さらに調べたいことを実験したり調べたりする。
- 学習したことを活用する発展問題に取り組み、自分の言葉で説明する。

社会

- 教科書・ノートを振り返りながら学習内容を復習する。
- 歴史の人物調べに取り組む。
- 疑問に思ったことや、さらに調べたいことについてニュースなどに注目しながらより深く調べてみる。
- 教科書の「ことば」で表されている語句についてノートに自分の言葉でまとめること

ご家庭に協力していただきたいこと

音読→正しく読めているか聞いてあげてください。読んだ後に、内容を理解しているか質問をしてあげてください。

らくらくノート、漢字テスト練習など←終わったら内容を確認してほめてあげてください。

「自主的に学ぶ力を養いましょう」

子どもの考え方や疑問に向き合い、一緒に考えましょう。自分でできることは自分で挑戦させるようにすることで、子どもは調べ方や問題解決の方法を取得していきます。6年生になると、素直に保護者の言う事をきかないということもあるかもしれません、「困ったことはないのか。」と寄り添っている態度だけでも、子どもは安心して、意欲的に学習に取り組めるようになります。中学校へ入ると、学習のペースが格段に上がります。この時期に自分から学習に取り組む姿勢を身に付けることは、とても大切なことです。「当たり前のこと」と見過ごすのではなく、自分から取り組んでいる姿には積極的に称賛の言葉かけをしてあげてください。

「社会へ目を向けるきっかけをつくりましょう」

6年生の学習では、社会や世界に目を向けた学習をします。一緒にニュースを見たり、新聞を読んだりして、実社会へ目を向けるきっかけづくりをしましょう。また、博物館や美術館、山や海などの自然に出かけるなど、体験を大切にしましょう。義務教育は中学校の3年間で終わります。子どもたちを見ていると、「この勉強何の役に立つの。」というつぶやきを聞くことがあります。社会に目を向けたり、日常では味わえない体験をしたりすることは、子どもたちの将来への意識を高めることにつながります。夢や目標をもつことで、現在の学習にも価値があるということを理解するきっかけにもなります。ぜひ、ご家庭でもお子さんの夢や将来について語る時間を設けてください。